

3. 研修カリキュラム

教科名	時間数	担当講師	目的及び内容
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	6 (2) (4)	村上 景太 鎌田 美香	介護職がどのような環境で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って、研修に実践的に取り組めるようにする。
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	9 (6) (3)	戸松 全子 前川 将一	利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	6 (2) (1) (2) (1)	戸松 全子 杉本 龍治 杉本 龍治 杉本 龍治	介護職の専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策の重要なものを理解する。介護を必要としている人の個性を理解し、利用者の視点から支援を捉える事が出来る。
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	9 (3) (2) (4)	村上 景太 橋本 美恵子 後藤 一水	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について理解する。
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6 (4) (2)	戸松 全子 村上 景太	高齢者や障害者のコミュニケーション能力の一人ひとりの違いを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解する。
6 老化の理解 ①老化に伴うところとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	6 (3) (3)	鎌田 美香 豊田 淑子	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。
7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	6 (1) (2) (2) (1)	鎌田 美香 橋本 美恵子 鎌田 美香 鎌田 美香	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。
8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3 (1) (1) (1)	豊田 淑子 豊田 淑子 豊田 淑子	障害の概念 ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。

教科名	時間数	担当講師	目的及び内容
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護 ⑬介護課程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習	75 (2) (3) (5) (5) (5) (8) (8) (6) (8) (5) (5) (3) (4) (8)	橋本 美恵子 鎌田 美香 豊田 淑子 村上 景太 前川 将一 西尾 裕太 板東 裕之 阿部 祐介 前川 将一 西尾 裕太 阿部 祐介 戸松 全子 杉本 龍治 前川 将一	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。
10 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4 (2) (2)	村上 景太 村上 景太	研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再確認を行い、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。

教科名	時間数	担当講師	目的及び内容
・介護実習	20	高儀 千秋	講義・演習の各内容を老人保健・福祉施設において実践することにより、介護技術を中心とする援助能力を高める。(介護老人福祉施設での実習の他、介護福祉士の指導の下、模擬実習を実施する。)